

KF

高耐候性 1 液水性反応硬化型フッ素樹脂塗料
ラジカル制御型

セミフロンアクア

より永く、より美しく。

CEMIFLON
AQUA

Two vibrant green leaves are shown floating on a surface of clear blue water. The leaves are positioned one above the other, with the top leaf slightly offset to the right. The water's surface is covered in gentle ripples and small, shimmering droplets, creating a textured and refreshing visual. The overall composition is clean and evokes a sense of purity and natural beauty.

住まいの美観をより永く保ち、資産価値を高める セミフロンアクア

歳月とともに美しかった住まいの外観も汚れやひび割れなどが目立つようになり、その資産価値も徐々に低下していきます。

すぐれた耐久性を実現した先進のフッ素樹脂塗料「セミフロンアクア」は、外壁などの光沢感や耐久性をより永く保持し、いまお住まいのマンションや一戸建ての資産価値を高め、みなさまに快適な住宅環境をお届けいたします。

～ワンランク上のハイブリッド効果をご提案します～

塗膜は年月の経過とともに光沢の低下とチョーキング現象が進行し汚染による美観の低下、建物と保護する機能の低下を引き起こします。セミフロンアクアは、フッ素樹脂と特殊顔料のハイブリッド効果により塗膜劣化の初期に生じるチョーキング現象を抑制します。それによりメンテナンスサイクルを延長し、ランニングコストの低減につながります。

セミフロンアクアの特徴

水性

1液

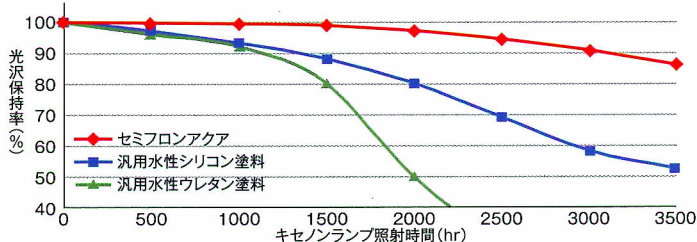
高耐候

低汚染

防藻・
防カビ性

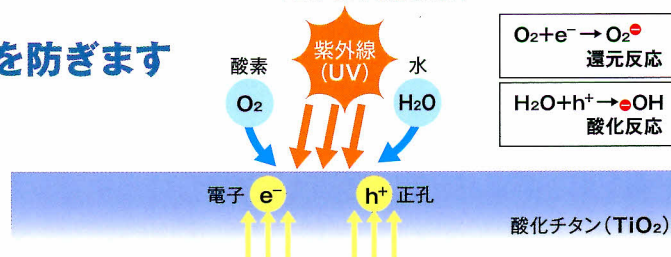
高光沢

■セミフロンアクア耐候性データ



■光触媒反応の抑制により、紫外線劣化を防ぎます

宮古島の苛酷な環境での実証実験で顔料選定を実施した結果、真に優れたラジカル制御性を備えた耐候性を実現し、実証された新技術・導入によりチョーキング現象を抑制し、保護機能を向上しました。



セミフロンアクア下塗材の特徴

1 環境に優しい水性塗料です

KFマイクロカチオンシーラーは、内外壁に使用できる水性の高機名下塗り材ですので、安全で、いやな臭い也没有。またカチオン樹脂のため、下地との密着性に優れています。

水性

1液

高密着

可とう性

2 密着性に優れています

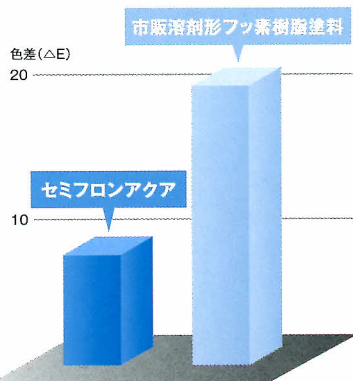
セミフロンフィラー、セミフロンフィラーエポは、特殊アクリルエマルジョンをベースにした微弾性フィラーです。旧塗膜への優れた付着性に加え、弾性もありますので、旧塗膜および下地に発生した微細なクラックに追従効果が得られます。



2 優れた低汚染性

塗膜表面は親水性技術により優れた低汚染性を示し、またバイオカット技術の導入により藻やカビの発生を抑制し、長期間建物の美観を維持します。

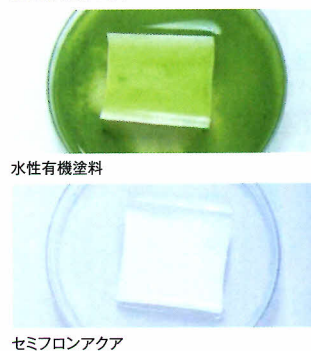
■セミフロンアクア汚染性データ (東京6ヶ月)



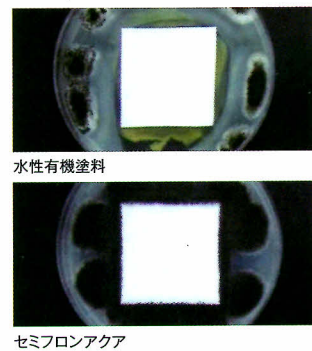
優れた防藻・防カビ性

防藻試験や防カビ試験において、塗膜表面に藻やカビが生えることなく、優れた防藻・防カビ性能を発揮します。

■防藻試験



■防カビ試験



3 優れた環境配慮型

オール水性仕様が可能で塗付時の臭気も少なく環境に配慮した塗料です。内装使用制限のないF☆☆☆☆を取得しています。



4 優れた作業性

塗料はすべて1液水性タイプで作業性が良く、安定した性能を発現させるので、美しい仕上がりが得られます。



性能項目

試験項目	規格値	セミフロンファイバー セミフロンアクア	試験項目	規格値	セミフロンファイバー セミフロンアクア
1 容器の中での状況	堅い塊が無く、容易に一樣になること	異常なし	8 耐衝撃性	ひび割れ、はがれ及び著しい変形がないこと	異常なし
2 塗膜外観	異常のないこと	基準	9 ひび割れ充てん性	基盤の溝の部分に、塗膜のひび割れ及び穴がないこと	異常なし
3 低温安定性	塊がなく、組成物の分離・凝集がないこと	異常なし	10 耐候性B法	XWOM2500時間で塗膜にひび割れ、はがれ及び膨れが無く、光沢保持率が80%以上で、変色の程度がグレースケール3号以上であり、白亜化の等級が1以下であること	耐候性1級合格
4 初期乾燥によるひび割れ抵抗性	ひび割れがないこと	異常なし	11 可とう性	φ10mmの折り曲げに耐える	異常なし
5 付着強さ (N/mm)	標準養生 浸水後	0.7以上 0.5以上	12 耐微生物性	カビ抵抗性: JISZ 2911による。塗面にカビが発生しないこと 藻類抵抗性: 寒天培地法による。塗面に藻が発生しないこと	合格 異常なし
6 温冷繰り返し	試験体に異常の無いこと	異常なし			
7 透水性B法	0.5ml以下	0.1ml			

セミフロンアクア

高耐候性1液水性反応硬化型フッ素樹脂塗料 セミフロンアクア

■外壁 標準塗装仕様（新設・窯業系サイディングボードなどの塗替え）

工程	材料名	塗回数	塗布量 (kg/㎡/回)	希釈	塗装間隔 (20℃)	塗装用具
下地調整	旧塗膜で剥れ部分、膨れ部分等はワイヤーブラシ、皮スキ等のケレン具を用いて完全に除去する。またチョーキング部分、汚れ等は高圧洗浄等で除去し、乾燥した面とする。(含水率10%以下)					
下塗	KFマイクロカチオンシーラー	1	0.12～0.18	無希釈	4時間以上7日以内	刷毛、ローラー、スプレー
上塗	セミフロンアクア	2	0.15～0.18	水道水 3～10%	4時間以上7日以内 最終養生24時間以上	刷毛、ローラー、スプレー

※素地劣化が進んだ窯業系サイディングボードは、予めKFマイクロカチオンシーラーを増し塗りし下地補強を行って下さい。

■外壁 標準塗装仕様（窯業系サイディングボードなどの塗替え）

工程	材料名	塗回数	塗布量 (kg/㎡/回)	希釈	塗装間隔 (20℃)	塗装用具
下地調整	旧塗膜で剥れ部分、膨れ部分等はワイヤーブラシ、皮スキ等のケレン具を用いて完全に除去する。またチョーキング部分、汚れ等は高圧洗浄等で除去し、乾燥した面とする。					
下塗	セミフロンフィラーエポ	1	0.2～0.4	水道水 2～5%	4時間以上3日以内	ウールローラー
上塗	セミフロンアクア	2	0.15～0.18	水道水 3～10%	4時間以上7日以内 最終養生24時間以上	刷毛、ローラー、スプレー

※素地劣化が進んだ窯業系サイディングボードは、予めKFマイクロカチオンシーラーを増し塗りし下地補強を行って下さい。

■外壁 標準塗装仕様（モルタル下地：リシン、吹付けタイルなどの塗替え）

工程	材料名	塗回数	塗布量 (kg/㎡/回)	希釈	塗装間隔 (20℃)	塗装用具
下地調整	旧塗膜の脆弱部はワイヤーブラシ、皮スキ等のケレン具を用いて完全に除去、除去した部分は同一模様に合わせて補修する。またチョーキング部分、汚れ等は高圧洗浄等で除去し、乾燥した面とする。					
下塗	セミフロンフィラー	1	0.2～0.4	水道水 2～5%	4時間以上3日以内	ウールローラー
			0.8～1.2	水道水 0～3%	16時間以上3日以内	砂骨ローラー
上塗	セミフロンアクア	2	0.15～0.18	水道水 3～10%	4時間以上7日以内 最終養生24時間以上	刷毛、ローラー、スプレー

※旧塗膜の劣化、素地劣化が顕著な場合は、KFマイクロカチオンシーラーを増し塗りし下地補強を行って下さい。

■外壁 標準塗装仕様（モルタル下地：リシン、吹付けタイルなどの塗替え）

工程	材料名	塗回数	塗布量 (kg/㎡/回)	希釈	塗装間隔 (20℃)	塗装用具
下地調整	旧塗膜の脆弱部はワイヤーブラシ、皮スキ等のケレン具を用いて完全に除去、除去した部分は同一模様に合わせて補修する。またチョーキング部分、汚れ等は高圧洗浄等で除去し、乾燥した面とする。					
下塗	セミフロンフィラーエポ	1	0.2～0.4	水道水 2～5%	4時間以上3日以内	ウールローラー
			0.8～1.2	水道水 0～3%	16時間以上3日以内	砂骨ローラー
上塗	セミフロンアクア	2	0.15～0.18	水道水 3～10%	4時間以上7日以内 最終養生24時間以上	刷毛、ローラー、スプレー

※旧塗膜の劣化、素地劣化が顕著な場合は、KFマイクロカチオンシーラーを増し塗りし下地補強を行って下さい。

商品一覧

用途	系統	材料名	色相	光沢	容量 (kg) (主剤・硬化材)	混合比 主剤・硬化材	標準 塗回数	塗布量 (kg/㎡/回)	缶当り面積 (㎡)	希釈材 希釈率 (%)	塗布間隔 (20℃)	可使時間 (h)	塗装用具	内装制限 (NSK)	規格備考
下塗	水性1液型 カチオンシーラー	KFマイクロカチオンシーラー	透明	艶有	15kg	—	1	0.12～0.18	125	無希釈	4時間以上 7日以内	—	刷毛 ローラー スプレー	F☆☆☆☆	非危険物
	合成樹脂系 微弾性フィラー	セミフロンフィラー	白	—	16kg	—	1	0.20～1.20	14～53	水道水 0～5%	(平滑) 4時間以上3日以内 (模様) 16時間以上3日以内	—	ウールローラー 砂骨ローラー	F☆☆☆☆	非危険物
	エポキシ樹脂系 微弾性フィラー	セミフロンフィラーエポ	白	—	16kg	—	1	0.20～1.20	14～53	水道水 0～5%	(平滑) 4時間以上3日以内 (模様) 16時間以上3日以内	—	ウールローラー 砂骨ローラー	F☆☆☆☆	非危険物
上塗	水性1液型 フッ素樹脂仕上材	セミフロンアクア	指定色	艶有 3分艶	15kg 4kg	—	2	0.15～0.18	90 24	水道水 3～10%	4時間以上7日以内 最終養生24時間以上	—	刷毛 ローラー スプレー	F☆☆☆☆	非危険物

施工上の注意事項・要点

●塗装場所の気温が5℃以下、湿度85%以上または換気が十分でなく結露が考えられる場合は、塗装を避けてください。外部の塗装で降雨の恐れがある場合、および強風時は塗装を避けてください。 ●飛散防止のため養生を行ってください。色相によっては降雨、結露により濡れ色になる場合がありますが、乾燥すると元に戻ります。塗膜性能上問題はありません。 ●塗装後、24時間以内に降雨、結露がありまると白化やしみが残る場合があります。 ●低温、高湿度、遠風のない場合には白化やしみが残る場合があります。乾燥条件によっては塗膜に粘着感を感じることがありますが、時間とともに粘着感はなくなくなり、塗膜性能上問題はありません。 ●並木、天端など、長時間水が滞留する箇所では塗膜の白化、膨れなどが発生する場合があります。 ●たえず結露が発生するような用途、場所での使用は避けてください。 ●蓄熱されやすい素材（軽量モルタル、ALC、窯業サイディングなど）や断熱構造が強い場合で、旧塗膜が弾性リシンや弾性スタッコ、複層弾性のアクリルトップなどの弾性塗料の場合、環境条件によって、水や温度の影響で塗膜が膨れていることがあります。そのまま塗装すると、更に膨れが拡大することがありますので、ケレンで除去するなどの入念な下地処理を行ってください。 ●素地の乾燥は十分に行ってください。(含水率10%以下、PH9以下) ●ALC面、多孔質下地、コンクリートブロック面、外部の素地において異臭、段差などがある場合、合成樹脂エマルジョン入りセメント系下地調整材などで処理してください。 ●表面のごみ、ほこりなどは除去し、目がい、ジャンカ、コールドジョイントなどは合成樹脂エマルジョン入りセメントモルタルで平滑してください。 ●新設の押出成形セメント板、GRC板、フレキシブルボードなどは、下塗り材として、浸透性のあるシーラーで処理してください。 ●新設仕様の場合は、溶剤形シーラーを塗装してください。 ●下地・旧塗膜が弱い弱な場合は、溶剤形シーラーをお使いください。 ●塗料は内容物が均一になるように攪拌してください。薄めすぎは隠れい力不足、仕上がりが不良となりますので注意してください。 ●はけ塗り仕上げとローラー仕上げが混在する場合は、塗付量、表面肌が異なり、色相差が出ますので、はけ塗りの場合は、希釈を少なくして塗装してください。 ●ローラー塗りの場合、ローラー目は同一方向に揃える様に仕上げてください。ローラー目により、色相が異なって見えることがあります。 ●下塗り材の微弾性機能は、塗付量によって異なりますので、所定の塗付量を塗装してください。 ●よごれ、きずなどに補修塗りが必要な場合がありますので、使用塗料の投入は必ず取っておき、同一ロット、同一塗装方法で補修塗装を行ってください。 ●各工程の塗装間隔は、所定の塗り重ね乾燥時間を厳守してください。 ●シーリング面への塗装は、塗膜の汚染、はく離、収縮割れなどの不具合を起こすことがありますので、行わないでください。やむを得ず行う場合は、適切な下塗り材処理を行ってから塗装してください。 ●被塗物の構造、部位、塗装仕上がり形状、環境条件などの影響で、本来の低汚染機能が現れられない場合があります。 ●旧塗膜に発生した藻・かびは洗浄などで必ず除去し清浄な面としてください。付着阻害を起こすおそれがあります。 ●既存塗膜のはく離箇所は、既存のパターンに合うように既存塗膜の塗装仕様でパターン合わせを行ってください。 ●劣化した塩ビ鋼板の上の塗装は避けてください。 ●乾燥した塗膜に付いた汚れは、シンナーなどで拭かず、中性洗剤で洗浄してください。 ●つや調整品は、被塗物の形状や素地の状態、膜厚や色相などにより、実際のつやと若干違って見える場合があります。見本版、またはあらかじめ試し塗りをして確認してください。 ☆つや調整タイプは硬くなるため、シーリング目地の上で割れる恐れがありますので、塗装しないでください。

安全衛生上の注意事項

●本来の用途以外に使用しないでください。 ●使用前に取扱説明書を理解して、取り扱ってください。 ●粉じん/ガス/蒸気/スプレーなどを吸入しないでください。 ●取扱後は、手洗いやうぶがいを十分に行ってください。 ●必要に応じて個人用保護具を使用してください。 ●飲み込んだ場合：気分が悪い時は、医師に連絡してください。口をすすいでください。 ●粉じん、蒸気、ガスなどを吸い込んで気分が悪くなったときには、安静にし、必要に応じてできるだけ医師の診断を仰ぐてください。 ●暴露した時、気分が悪いなどの症状がある場合は、医師に連絡してください。 ●緊急の洗浄剤が必要な場合、直ちに特別処置を実施する。 ●容器からこぼれた時には、砂などを散布した後処理してください。 ●施設して子供の手の届かないところに保管してください。 ●直射日光や水漏れは厳禁です。 ●塗料などの缶の積み重ねは3段までとしてください。 ●日光から遮断し、換気の良い場所で保管してください。輸送中も50℃以上の温度に暴露しないでください。 ●内容物/容器を廃棄する時には、国/地方自治体の規則に従って産業廃棄物として廃棄してください。 ※上記の表示は一例です。色相などにより、容器の表示とは異なる場合があります。 □詳細な内容、表示例以外の事項については、製品安全データシート(SDS)をご参照ください。 □本商品は日本国内での使用に限定し、輸出される場合は事前にご相談ください。

KF KFケミカル株式会社

〒105-0004

東京都港区新橋1丁目1番1号

日比谷ビルディング9F

TEL:03-6629-9033 FAX:03-6629-9023

HP: <http://www.k-fine.co.jp>



※本カタログの内容については、予告なく変更することがありますのであらかじめご了承ください。
082-15800-003 2018.4